



日一十月三年五和昭 (刊日) 日六十月七年六和昭 (刊日) 日一十月三年五和昭 (刊日)

四倉の漁港修築は

何等悲観の要なし

國庫補助が後廻りになった

だけで松川と同じく着工

石城郡四倉町は漁業修築の事業着手に任せ工事の進行に於て國庫補助を相馬度も大體松川浦と同一の進捗に於て制せられた爲め抄を圓るべく内意に決して町當局及び町會議員に責任あるもので近く縣參事會のを糺し同築港計劃が實現せ代決に附することになつてゐる場合は

總辭職をなすべし

と願ひであるが主務省に於ける實際の意向は財政の都合上本年松川浦の補助を二萬圓位に止めて十萬圓程度ケ年の豫定が或は四ヶ年位の工事を進め一方四倉の補助を一ヶ年

繰延べ

て本年は縣

此の不況に三千圓

小農經營の利益高

遣り方如何による成績

本縣模範の泉村志賀氏

石城郡泉村の志賀澤之助氏 諸費二千圓を差引き自家のが農林省の依託に係る農業労働を加へて三千圓の利益小經營は本縣の模範としてを上げてゐる志賀氏は他に自他に許されてるがメロ此の經營をして向ふ十ヶ年の温室、稲作、果樹、蔬計劃の下に 菜、乳牛その他 數十種 の經營は一 倍收入 を見るべく 年の粗收入五千圓で此の自縣經營の益費按出掛の

び佐々木直治郎氏の梨園を鮮魚入箱一四五個 九圓六十銭を賣り求め代金 見學の後小川江筋の關盤者 是次城縣平海町の根本福太 諺村勝爲氏の菩提所利安寺 郎が支拂ふと欺いたが同地 恒中氏經營の養蜂、接木、 益裁園に現地講習を行つた

景氣直しの 唄と踊り 是れから村の 祭かづく 農繁忙も一段落を告げそ 夏祭りの季節が近づい た、昨夜の平町は八坂、大 杉神社の祭典が同時に行は れた、め近郷近在から老若 男女が繰り出して時ならぬ 賑ひを呈し早くも盆踊り稽 古太鼓の音も聞かれ一入夏 らしい氣分をそつたが之 から近郷各所に連日の如 く夏祭りが行はれるので荒 びきつた農村にもやうやく 景氣直しの明るい笑ひがき かれるであらう

鮮魚入箱一四五個 九圓六十銭を賣り求め代金 見學の後小川江筋の關盤者 是次城縣平海町の根本福太 諺村勝爲氏の菩提所利安寺 郎が支拂ふと欺いたが同地 恒中氏經營の養蜂、接木、 益裁園に現地講習を行つた

プロの 夏期大學 社民黨の主催 社民黨石城支部では今夏中 一ヶ月間の豫定で小名濱町 にプロレタリア夏期大學を 開設する計畫を樹てた東京 月見町居住土木請負業草野 淺四郎(三)は去月中賭博の 罪で罰金二十圓を言渡され

石城販利 役員會 石城販利用組合ではけふ 午前十一時から役員會を開 き本年度春商取引状況の報 告をなし農業倉庫事務規程 許可申請、退職役員慰勞金 呈、商取扱所建築設計者に 謝贈禮、四倉商市場内來賓 室を夏季海水浴の客室とし て貸付の件を附議する

満州の駐軍に 慰問袋

好問村の在 郷軍人分會

石城郡好問村在郷軍人分會 では去る十二日同村役場に 幹部會を招集、來月二日分 會員百八十名が石城郡豊岡 村方面へ耐熱行軍を決定す ること、満州駐劄部隊に對 し慰問袋を送ること、方法 は小學校生徒をして全村か 一戸平均五錢づつ、の醸出 五月中石城郡勿來町大字關 田喜作八一口敬之助より

社民支部長 訴へらる

毎月期 間満了の自 然解約が口々に掛金關

平町郵便局では既報の如く健康相談所が決定した ので簡易保險二萬口の契約 に漕ぎつけべく大活動を續 けてゐるが現下の不景氣で 新規契約が少しくない傍 ば大して難事とされざるも 近在の農家は如何にしても 思ふ様でなく

小名濱町で 野菜市場

農會が開設

小名濱町では從來青物市場 がなかつた、め生産者間の 賣値に高低あり勢ひ競争も 激甚となるのでこの缺陷を 除き市價を協定するため同

庭球試會

縣下中等學校の 來る二十六日

本縣下中等學校の第十四回 體育大會は野球を來る廿二 三の兩日午前七時より福島 師範及び向高等商業並に同 市渡利運動場で開催されるが 庭球は本月廿六日午前七時 から中野警城中學に於て行 はれる

夏季衛生協議

平野 夏季衛生協議

平野では十七日午後一時か ら同野會議室に平野衛生區 長を招き傳染病豫防夏季衛 生に就き協議をなす

野菜市場

農會が開設

小名濱町では從來青物市場 がなかつた、め生産者間の 賣値に高低あり勢ひ競争も 激甚となるのでこの缺陷を 除き市價を協定するため同

川柳

浮からくり(夫)

あづくにうが其角かと 米屋共 浮からくり(夫) 十寸叟生

増口

憎ま

憎ま 増口 憎ま

野菜市場

農會が開設

小名濱町では從來青物市場 がなかつた、め生産者間の 賣値に高低あり勢ひ競争も 激甚となるのでこの缺陷を 除き市價を協定するため同

庭球試會

縣下中等學校の 來る二十六日

本縣下中等學校の第十四回 體育大會は野球を來る廿二 三の兩日午前七時より福島 師範及び向高等商業並に同 市渡利運動場で開催されるが 庭球は本月廿六日午前七時 から中野警城中學に於て行 はれる

夏季衛生協議

平野 夏季衛生協議

平野では十七日午後一時か ら同野會議室に平野衛生區 長を招き傳染病豫防夏季衛 生に就き協議をなす

石城郡町村
長會視察員

北海 視察(一)
夏井村長 阿部瀧藏

北海道と聞くだけでも直感的に雪國を想像され、ぞつと寒さを覚ゆるやうな感じがする、然し昔森から連絡船で函館へ着くと今までの空想も夢の様に消え失せて成程を観るの感がある、市街はゆつたりとしてゐる中に都府の文化に遅れぬ様と疑つて店頭に閉る光りを投げてゐるが殊更に「ツカフ」は銀座街で軒を並べたカフェー進出には驚かざるを得ない、函館に連絡船が着くと視察団體學生の修學旅行と同地旅行者に群りて構内が懐しき憧憬を抱いた北海道を眼のあたり展開したる時其所には新しい自然生活を見出した様な嬉しき感じがした、函館に着くと奥ゆかしい名稱だと思つた、北海道の名物は雪は白く熊は黒い色彩に自然の對象も面白い函館附近の山海は新緑の芽も延々して風に富んで錦埋まる外人あり支那人あり内鮮人あり全く異境の観がある、北海道に渡つて日帯い私には毎朝降るしとしとの細い雨には苦しめられた次大沼湖畔の緑に包まれた山光にあこがれ水色の景色を後に午後札幌に着いた札幌に來て目についたものは何と云つても道路である

急ぎの需めに應じます

看護婦派

磐城看護婦會
電話二五七番

雨に外に必要は以上
空の月六い近雨
傘雨ず必は以上
傘日と傘雨
傘日とルソバ
傘白用生學女
ツヤルツ

看護婦
急派の求めに應じます
平看護婦會
電話二五七番

そばから
そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります
そばから 一升 三錢 そばこ 八錢 そば 一パック 五錢
平町土橋 福麥マルマ商店 電話四八九番

債券、公債、兩替金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

質屋
質屋 質屋
質屋 質屋
質屋 質屋
質屋 質屋

教育 改革 概論
矢野恒太 大内民惠 著
發行所 東京市丸の内 日本評論社
取次所 石城郡 内郷村報社
定價 五十錢
郵税 六錢
本書は従来にも連載せる大内民惠氏の提唱を以て行詰れる現代の教育制度を解剖し學理と實際、歴史と實験とから著者が著した一國の大精神を説く國民必讀の書

服んで良くなる
(絶対に胃腸を害さぬ)
淋病と
消渴の 特効藥 **濟淋**
平町一丁目
本舖 責任製劑 **水野藥局**
振替貯金口座
御番八八七六

健康長壽の源泉
朝日養素
二木、友澤醫學博士の實驗推獎
脚氣、腎臓病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等にも大なる効果があります。◇百開一見に如かず一ヶ月飲んで見てください(一合代價七錢)
講崎商店朝日養素部
毎日午前 平町新川町二六
後二回配達 **平出張所**

平町
藤沼醫院
電話七〇五番
平町
伊関吳服店
山澤荷入物夏
客持探の良品店

醫院開業
私儀今般左記場所を醫院を開業一般診察に従事致すべく候
平町新川端(多屋新宅向)
難波醫院
醫學博士 難波 陸
電話五〇二番
内科 一般 (午前九時より) 午後往診
但し急患は此限りならず

諸毒下しの大妙藥
安流丸
平町五丁目
特約 **山野道藥局**
◎病体改造!!
カイソネーチャ療法 の出現
海草蒸熱療法なるが故に従来の物理療法と異り各種病症に特効あるは既に定評があります論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ
特許中山式 (平町大町電話三七二番)
カイソネーチャ磐城分院
言田五平

平町前町
内科
小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
電話二五八番